

【イベント】GBRC EXPO 2025 (2025年度建築技術セミナー) ～特別講演・技術講演の紹介～

GBRC EXPO 2025を開催いたします

場所	開催日時	会場	定員
大阪	2025年8月22日 (金) 12:00～17:00	マイドームおおさか	250名
東京	2025年10月17日 (金) 13:00～17:00	一橋大学 一橋講堂	200名

大阪会場は講演と体験型セミナーになります。皆様是非お誘いのうえ、ご参加お願いいたします。

申込：https://www.gbrc.or.jp/training/gbrc_meeting/



特別講演＜国土交通省＞

**脱炭素社会の実現に向けた
住宅・建築物分野の政策動向について**
国土交通省住宅局参事官（建築企画担当）付
課長補佐 平山 鉄也



特別講演＜株式会社大林組＞

**低炭素建築へ向けて
～構造部材リユースと高層純木造への挑戦～**

**アップフロントカーボン
(資材製造・施工時に排出するCO₂)削減に向けた
建築資材リユースの取り組み
～構造部材リユースへの挑戦～**
株式会社大林組 本社 設計本部
カーボンニュートラル設計推進部 部長 鈴木 勇二



**次世代型研修施設「Port Plus®」での取り組み
～高層純木造耐火建築物への挑戦～**

株式会社大林組 本社 設計本部
構造設計第三部構造設計第五課 課長 百野 泰樹



技術講演＜性能評定課 構造G＞

超高層建築物の地震荷重と風荷重の比較 に関する一考察



超高層建築物の構造計算においては、平12年建告第1461号および業務方法書に基づき、**高さが100m以上かつアスペクト比が3以上の場合に、風方向荷重に加えて直交方向およびねじれ方向を考慮した風荷重の検討が求められます。**

風荷重の検討は、地震荷重との比較によって省略されるケースも少なくありませんが、本講演では風荷重と地震荷重を比較する際の注意点について、ご説明させていただきます。

◆風荷重の組み合わせについて

風荷重は建築物荷重指針・同解説に基づいて算定するか、風洞実験結果を用いることとなりますが、それぞれの場合の風荷重の組み合わせ方法を簡単にご紹介します。

◆ねじれ風荷重の考慮について

風荷重は風外力としてねじれ成分が作用するため、地震荷重との比較においてはねじれ風荷重を適切に考慮する必要があります。ねじれ風荷重を考慮する方法について、ご紹介します。

☞耐風設計の検討の参考になりますので、この機会にぜひご聴講ください。

「技術講演」は他にも、DX調査、環境配慮型コンクリート、避難安全検証法、省エネ適判・バリアフリー法改正ポイントについて予定しており、実務に役立つ講演となっております。

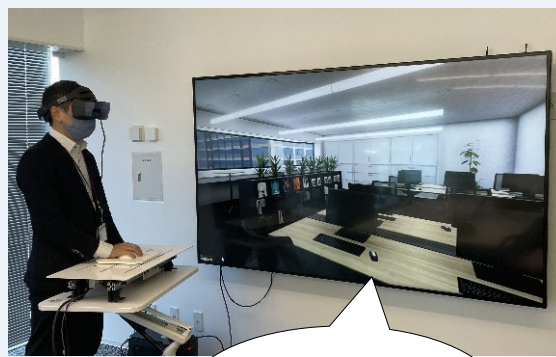
【イベント】GBRC EXPO 2025 (2025年度建築技術セミナー) ～体験型ブース紹介 (大阪会場) ～

ブース名：地震時の室内シミュレーション TAFT®
出展：株式会社竹中工務店

＜振動椅子タイプ＞



＜ハンドデバイスタイプ＞



バーチャルの室内空間で
振動体験ができます

＜振動椅子タイプ＞

スクリーンに映し出されたVR映像と椅子の移動等により、地震時の室内の揺れの振動体験ができます。耐震・免震建物の揺れの違いを体験することができます。

＜ハンドタイプ＞

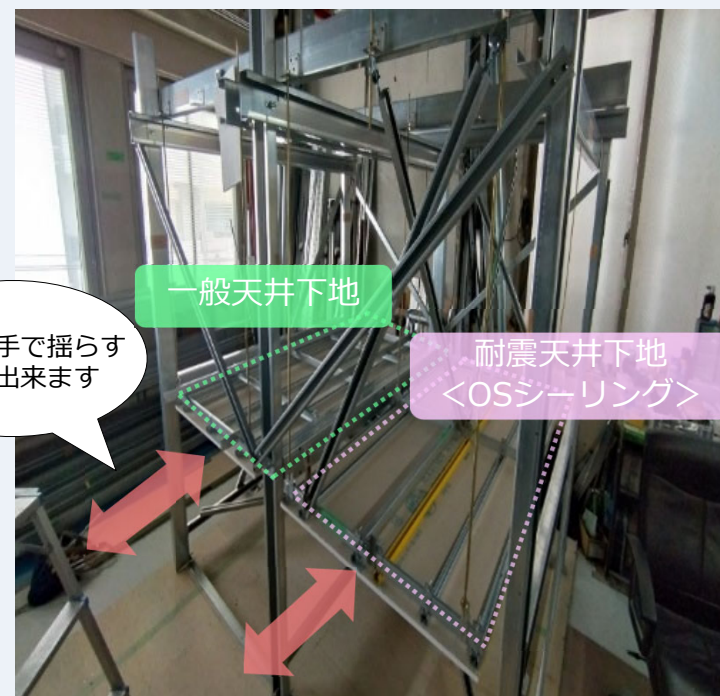
HMDの映像と手を置いたハンドデバイスの移動により、地震時の室内の揺れを手により体験することができます。

👉振動椅子、ハンドデバイス両方での地震時の揺れの体験ができる貴重な機会です

TAFT® URL

<https://www.takenaka.co.jp/solution/disaster/taft/>

ブース名：耐震天井下地＜OSシーリング＞
出展：株式会社オクジュ



実際に手で揺らす
ことができます

一般天井下地

耐震天井下地
＜OSシーリング＞

耐震天井下地＜OS シーリング＞と一般天井下地を比較できる模型を展示します。実際に天井部分を手で揺らすことができる模型になっており、両者の揺れの違いを体感することができます。

👉実際に天井下地を間近で見ることが出来、さらにそれを揺らせる機会はなかなか無いので貴重な体験をしてみてください

OSシーリング

<http://okuju.co.jp/business-cat/os-ceiling/>

【認定情報】審査期間

●認定審査期間の実績(2025.4月～6月) (性能評価期間は含みません)

	標準期間※1	実績
新規	2ヶ月	56日
新規 (特定天井あり※2)	2.5ヶ月	—
計画変更	1.5ヶ月	40～43日
計画変更 (特定天井あり※2)	2ヶ月	—
軽微な変更	1.0ヶ月	26～54※3日
軽微な変更 (特定天井あり※2)	1.5ヶ月	—

—は該当期間内での実績なしを示す

※1 標準期間は認定申請～認定書交付までの標準日数を表しています。

※2 特定天井がある場合は「通常の審査期間 + 0.5ヶ月」を目安としてください。

※3 避難と合わせての申請案件のため審査時間を要しています。

【お知らせ】GBRC建築確認申請のワンストップ

軽微な変更による大臣認定案件で、GBRCでの建築確認の軽微な変更手続きで必要な資料をお知らせします。以下の正副の紙面を検査申込時（1週間程度前）までに性能評定課 構造G担当者へご提出ください。なお、建築確認申請が電子申請の場合は電子データで構いません。

(1) 軽微な変更説明書

※HPのフォーマットご使用ください（20:軽微な変更説明書）

https://www.gbrc.or.jp/confirm_inspection/confirm_inspection/ci_app_form/

ポイント：書式右上の日付は検査申請日以前の日付を記載

ポイント：交付年月日で計画変更は「第●●更建築」のため注意

ポイント：変更内容は「別紙による」と記載

(2) 変更項目一覧表

ポイント：性能評価時と同じものを用意し、検討資料は不要

変更項目一覧表は規則の該当条文（号数）が記載されたもの

ポイント：変更項目一覧表は直前の確認申請または軽微な変更手続きの図面からの変更とし整理

(3) 変更前及び変更後の構造図

ポイント：変更前図は直前に提出した建築確認申請または軽微な変更手続きの図面

ポイント：変更前図、後図ともに構造設計者の建築士番号と記名された図面

(4) ※確認申請用構造図

ポイント：変更した図面のみを提出

(5) 大臣認定書の写し及び性能評価の別添一式

ポイント：別添一式には別添構造図一式も必要

※（4）は変更後図と兼ねることも可

【編集後記】

今年は異例の早い梅雨明けとなり、猛暑が長期戦化するようです。先日娘を連れてプールに出かけましたが、日差しの強さに疲れ果ててしまいました。暑い日が続きますが、皆様も体調にはお気をつけてお過ごしください。（K.K）

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所

評価判定センター 性能評定課

担当：甲谷、鳥谷、勝間

TEL：070(7811)0607 FAX：06(6966)7680

E-mail：seinou@gbrc.or.jp

